

平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川宗平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 世古哲久
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,334	16.1	204	28.7	229	68.0	159	
29年3月期第1四半期	1,149	150.7	158		136		8	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 147百万円 (%) 29年3月期第1四半期 55百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	31.84	31.58
29年3月期第1四半期	1.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,217	2,712	63.4
29年3月期	3,883	2,577	65.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,672百万円 29年3月期 2,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		3.00	3.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,566	28.9	309	7.8	310	0.9	239	84.1	47.64
通期	4,172	22.4	409	11.7	444	25.3	268	97.6	53.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	5,076,100 株	29年3月期	5,076,100 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	58,000 株	29年3月期	58,000 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	5,018,100 株	29年3月期1Q	5,008,816 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな景気回復基調で推移したものの、個人消費におきましては依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが所属するゲーム業界においては、家庭用ゲーム市場では、任天堂株式会社が平成29年3月に発売いたしましたNintendo Switchの販売が好調に推移し、品薄状態が継続している等、新しいハードウェアの需要が高まっていることがうかがえます。また、スマートフォンゲーム市場では、ユーザーの位置情報を利用したコンテンツが開発・配信されるなど、スマートフォンやタブレット端末を利用した遊び方の多様化が見られます。

当社グループは、このような経営環境の中、あらゆるエンターテインメント分野で活躍できる強いコンテンツメーカーとして、世界中の方々に楽しさを提供できるよう『商品戦略』『技術力向上』『人材育成』『グループ統制』を中期戦略として取り組んで参ります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの状況は以下のとおりです。

平成29年3月に国内版、平成29年5月に海外版を発売した『魔界戦記ディスガイア5』(Nintendo Switch専用ゲームソフト)が国内、海外合わせて販売本数10万本を突破するなど、好調に推移いたしております。

また、平成29年7月にスマートフォン向けアプリ『魔界ウォーズ』の告知を行うなど、コンシューマーゲームの開発のみならず、スマートフォン向けアプリの配信に向けた取り組みを進めており、当社が生み出したコンテンツの更なる認知度向上、当社グループの事業拡大及び企業価値の一層の向上を図っております。

上記のほか、PlayStation Network及びSteamを通じたダウンロードコンテンツの配信、他社が配信するオンラインゲームとのコラボレーション、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を引き続き行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,334,843千円(前年同期比16.1%増)、営業利益204,030千円(前年同期比28.7%増)、経常利益229,490千円(前年同期比68.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益159,787千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失8,702千円)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,217,904千円となり、前連結会計年度末に比べ334,524千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加(前連結会計年度末に比べ72,988千円の増加)、受取手形及び売掛金の増加(前連結会計年度末に比べ368,460千円の増加)、前払費用の減少(前連結会計年度末に比べ104,811千円の減少)によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ69,533千円の増加)によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,505,666千円となり、前連結会計年度末に比べ199,400千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、未払法人税等の増加(前連結会計年度末に比べ78,793千円の増加)、賞与引当金の減少(前連結会計年度末に比べ64,353千円の減少)、売上債引当金の増加(前連結会計年度末に比べ91,206千円の増加)によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ93,545千円の増加)によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,712,238千円となり、前連結会計年度末に比べ135,124千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加(前連結会計年度末に比べ144,733千円の増加)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、堅調に推移いたしておりますが、第2四半期連結会計期間以降の商品の販売動向等、いまだ不確定な要素を含んでおります。

従いまして、平成29年3月期決算短信(平成29年5月12日付公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,181,316	1,254,304
受取手形及び売掛金	182,174	550,634
有価証券	—	10,001
商品及び製品	102,359	72,845
仕掛品	231,003	275,660
前払費用	327,179	222,368
その他	211,154	117,418
貸倒引当金	△5,800	△5,808
流動資産合計	2,229,388	2,497,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	267,738	265,010
機械装置及び運搬具(純額)	1,236	2,959
土地	214,495	214,495
その他(純額)	30,993	30,152
有形固定資産合計	514,463	512,618
無形固定資産		
無形固定資産	25,684	24,401
投資その他の資産		
投資有価証券	1,089,858	1,159,391
その他	23,984	24,068
投資その他の資産合計	1,113,842	1,183,460
固定資産合計	1,653,991	1,720,479
資産合計	3,883,379	4,217,904

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	91,785	84,169
短期借入金	210,000	180,000
未払金	130,718	135,827
未払法人税等	5,127	83,920
賞与引当金	92,780	28,426
売上値引引当金	119,091	210,298
その他	132,069	160,935
流動負債合計	781,573	883,579
固定負債		
長期借入金	458,051	551,596
退職給付に係る負債	30,007	32,161
その他	36,633	38,329
固定負債合計	524,692	622,087
負債合計	1,306,265	1,505,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	525,840	525,840
資本剰余金	515,840	515,840
利益剰余金	1,403,341	1,548,074
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	2,428,150	2,572,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,522	12
為替換算調整勘定	100,708	99,728
その他の包括利益累計額合計	112,230	99,740
新株予約権	36,733	39,613
純資産合計	2,577,114	2,712,238
負債純資産合計	3,883,379	4,217,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,149,342	1,334,843
売上原価	646,294	719,340
売上総利益	503,047	615,502
販売費及び一般管理費	344,469	411,471
営業利益	158,578	204,030
営業外収益		
受取利息	11,040	11,166
受取配当金	83	67
為替差益	—	14,621
補助金収入	4,674	—
その他	732	628
営業外収益合計	16,530	26,484
営業外費用		
支払利息	743	1,018
為替差損	36,832	—
その他	918	7
営業外費用合計	38,494	1,025
経常利益	136,615	229,490
特別利益		
投資有価証券償還益	10,907	—
投資有価証券売却益	—	21,134
特別利益合計	10,907	21,134
特別損失		
投資有価証券評価損	74,427	—
特別損失合計	74,427	—
税金等調整前四半期純利益	73,094	250,624
法人税等	81,797	90,837
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,702	159,787
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,702	159,787

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,702	159,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,932	△11,509
為替換算調整勘定	△92,190	△979
その他の包括利益合計	△47,258	△12,489
四半期包括利益	△55,960	147,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,960	147,297
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、海外連結子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

「II 当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「パッケージ事業」「オンライン事業」「ライセンス事業」「その他事業」の4事業を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結累計期間より単一セグメントに変更しております。

当社グループでは、従来、配信方法やサービス形態別に報告セグメントを分類しておりましたが、近年の市場環境の変化に伴い、商品・サービスの多様化が進み、配信方法別・サービス形態別に管理する意義は乏しくなっております。

また、当社グループにおきましては、平成29年に成長戦略を改めており、あらゆるエンターテインメント分野で活躍できる強いコンテンツメーカーとして成長を遂げるため、中期目標としてビジョン「Entertainment for All」の達成を目指しております。

このような状況を踏まえ、当社グループの販売活動、開発体制、内部管理体制、社内報告体制の実態等の観点から事業セグメントについて再考した結果、当社グループの事業については一体として捉えることが合理的であり、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなることから、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。